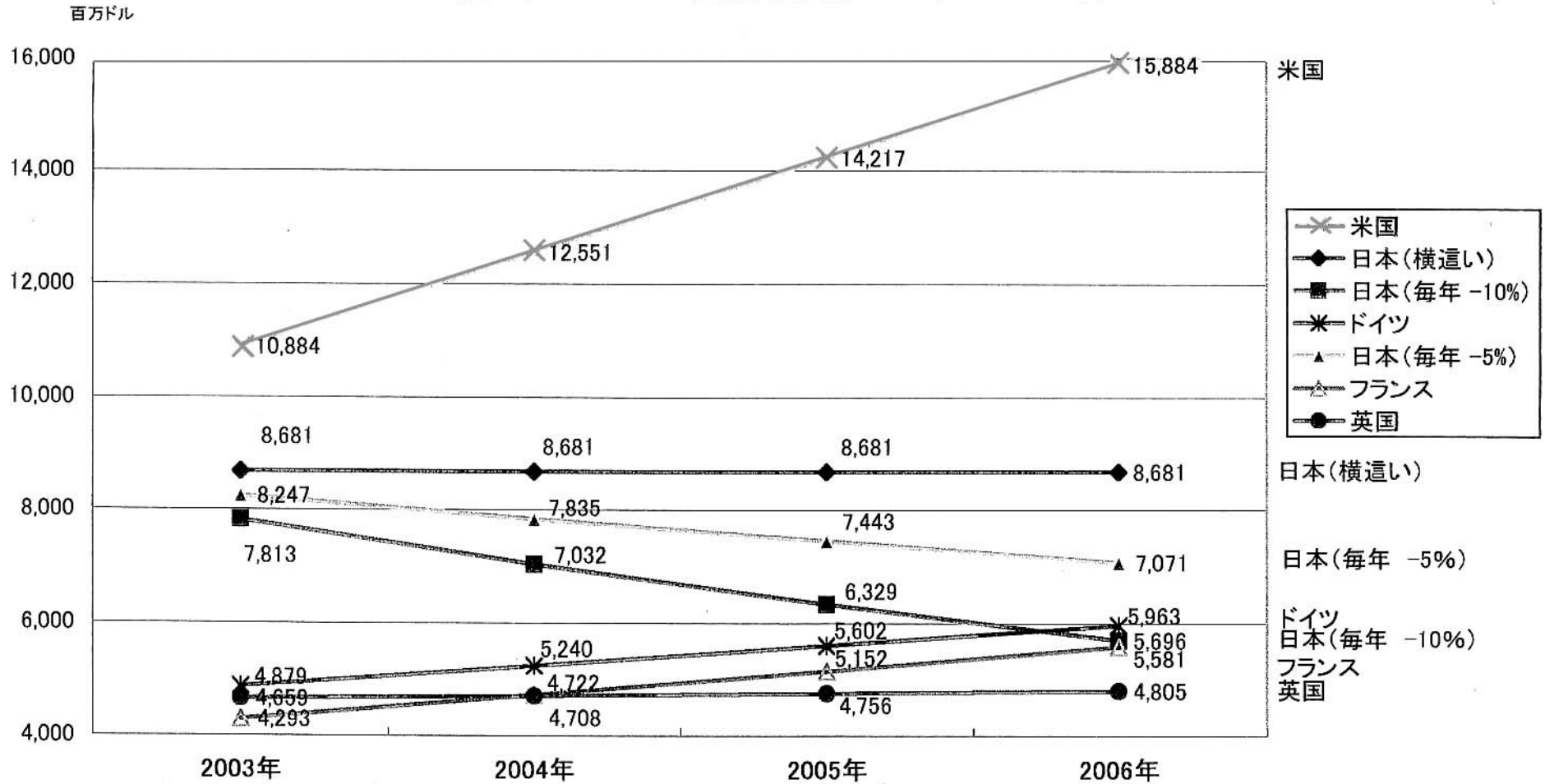


主要ドナーのODA実績予測(2003年～2006年)



注: 前提条件

- (1) 各国とも成長率は0%とする(名目GNIは一定とする)。また為替変動はしないものとする。
- (2) 米国のODAは、2003年から2006年にかけて50億ドル増加(←ブッシュ大統領が本年3月に表明)。
- (3) 英、独のODAは、2006年までにODA/GNI比で0.33%に到達(←EUが本年3月に表明)。
- (4) フランスのODAは、2003年以降5年間で50%増加(←シラク大統領が本年の大統領選の際に表明)。
- (5) 日本のODAは、2002年以降①横ばい、②毎年5%減、③毎年10%減の3通りを想定。なお、2002年の実績は2001年の実績比10%減と想定。
- (6) 日本を除く国のODAは、2001年、2002年、2003年の実績は同じと想定。